

呼吸器外科

～より体に優しい肺切除を目指して～

【当院呼吸器外科診療体制について】

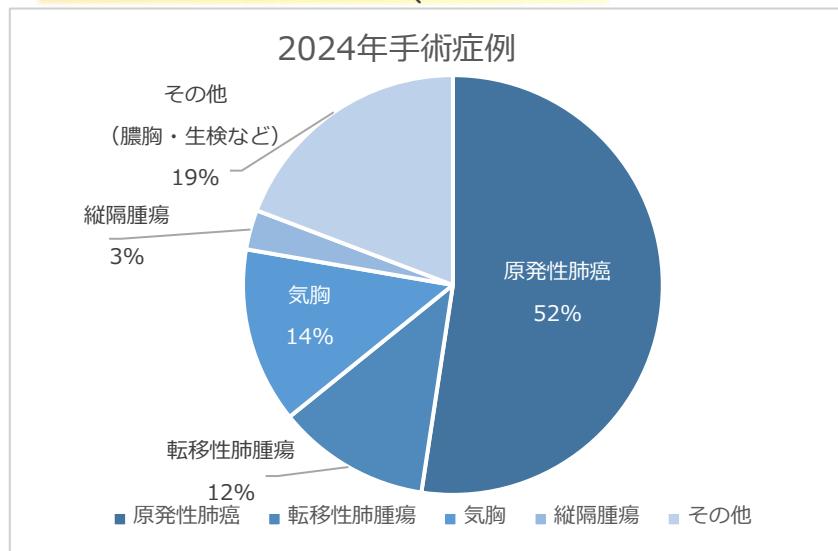
当科では胸部（肺、気管・気管支、胸壁、縦隔）を対象とした悪性・良性疾患、胸部外傷の治療を、呼吸器専門の2名の医師がチーム医療体制で行っています。

【低侵襲手術の導入】

当科の手術治療の特徴は、治療の質を低下させることなく、患者さんの体に優しい、**低侵襲手術**を目指していることです。このためほとんどの手術は胸腔鏡を使用し、可能な限り小さな傷で行うようにしています。また、肺の切除範囲を小さくして肺機能を温存する**「区域切除」**を積極的に行ってています。

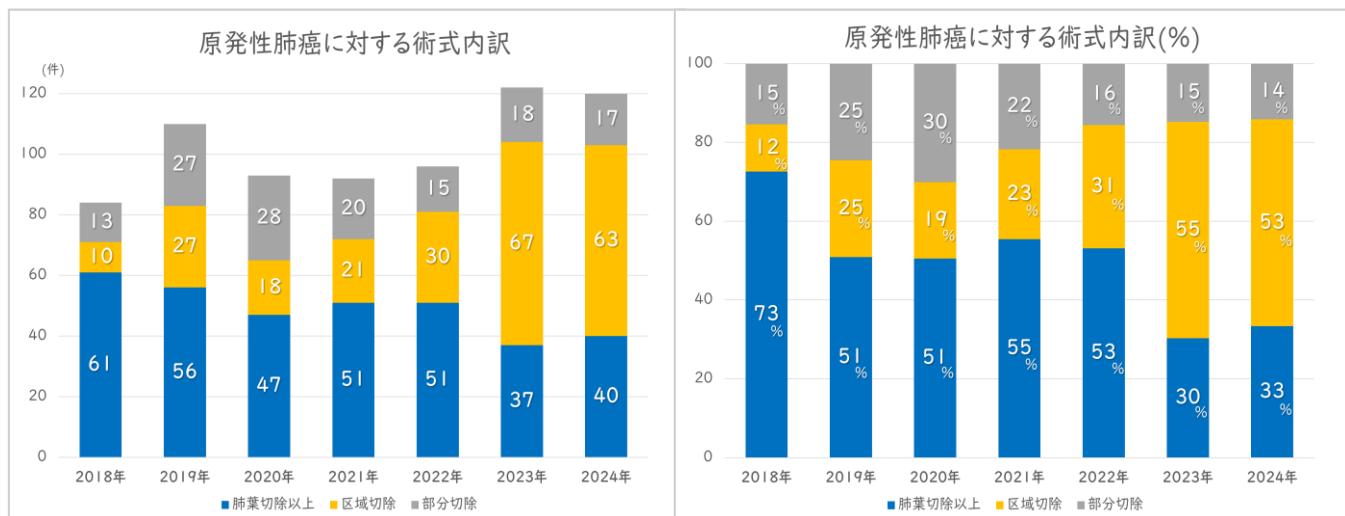
ロボット支援下手術も導入を始めています。

【手術症例の疾患内訳(2024年)】



	2024年
原発性肺癌	120
転移性肺腫瘍	27
気胸	31
縦隔腫瘍	7
その他	44
合計	229

【原発性肺癌術式の推移】



【スタッフ紹介】

▶ 花木 英明 (H15年卒)
○役職:主任部長
○専門:呼吸器外科一般

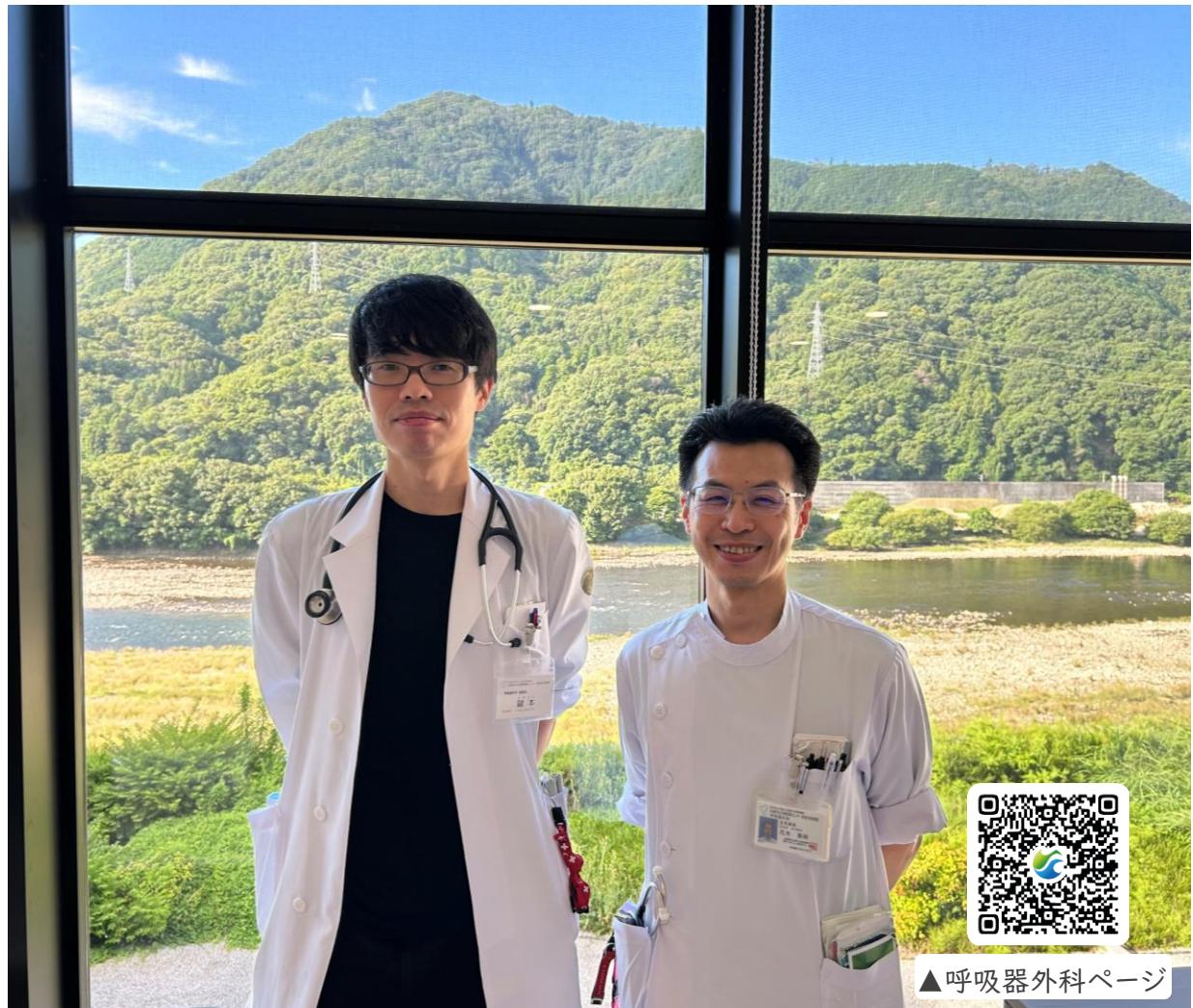
▶ 鍵本 篤志 (H25年卒)
○役職:副部長
○専門:呼吸器外科一般

外来診療担当 月 火 水 木 金

1診	花木	手術	手術	手術	花木
2診	鍵本	手術	手術	手術	-

【連携のお願い】

できる限り多くの方に治療が受けられるよう、呼吸器内科と連携し、日々の診療を行っております。
肺切除術後の患者様のことご不明な点がございましたら、
いつでもご相談いただけますと幸いです。



▲呼吸器外科ページ